病児保育協議会
NEWS
一般社団法人 全国病児保育協議会ホームページ http://www.byoujihoiku.net/

第83号
2016年（平成28年）4月1日
〔発行人〕 会長 稲見 誠
〔発　行〕 一般社団法人 全国病児保育協議会
〒154-0002 東京都世田谷区下馬 3-10-7 いなみ小児科内
TEL.03-3421-4885　FAX.03-3411-4936

待ってます!! in にいがた大会

第26回全国病児保育研究大会 in にいがた 実行委員長　**早 川 広 史**

協議会の皆様に、7月17・18日の26回大会を前にまず実行委員長からお知らせかたがたご挨拶申し上げます。日本海側初の研究大会となる本会の目的と詳細につきましては、次号の大会直前号で会頭 佐藤勇からご挨拶を予定しております。新潟県は山形県側端から富山県側端まで約250Kmの距離があり、新幹線博多駅から鹿児島中央駅までの線路距離に相当します。これまで新潟県内の施設がお互いに連絡しあう機会は少なく、今回の大会を良いきっかけとして、まず新潟県内からまとまって行くことを目指しました。平成26年8月から県内病児保育施設の有志の保育士と看護師による保育士・看護師会を定期的に開催し、病児保育施設側からもお互いにつながりを深められる様に活動してまいりました。本大会テーマ「地域ネットワークの中の病児保育」は、病児保育を通じて子育て支援の「つながり＝ネットワーク」について考えていこうという主旨です。その結束を深めていく過程で、昨年の第25回熊本大会用にプロモーションビデオ「恋する新潟研究大会」を作製し披露いたしました。

〔YouTube〕
https://www.youtube.com/watch?v=0viyW1UCF_4

熊本大会では替え歌バージョンを見ていただき、大好評でした。著作権の関係で、替え歌バージョンはWEBなどの一般公開が出来ませんので、7月の本大会で是非ご覧になってください。この映像を作るにあたり、まず形から入るということで、大会マーク・Tシャツ・チラシ・ポスターなど作製し、撮影隊が各施設を回り、最後に今回の会場：朱鷺メッセの信濃川対岸にある新潟市歴史博物館「みなとぴあ」でドローンを使用して本番撮影を行いました。最後のシーンでは、上空から俯瞰しますので必見です。25回熊本大会では、参加者が各自が分担して情報収集にあたり、その後報告会を行いました。保育士・看護師会に加え、その代表者と県内有識者による実行委員会を定期的に行い、現在にいたっています。平成27年10月には県内ブロック研修会と26回ワークショップ：WSの予行を兼ねて「服薬支援」についてWSを開催いたしました。

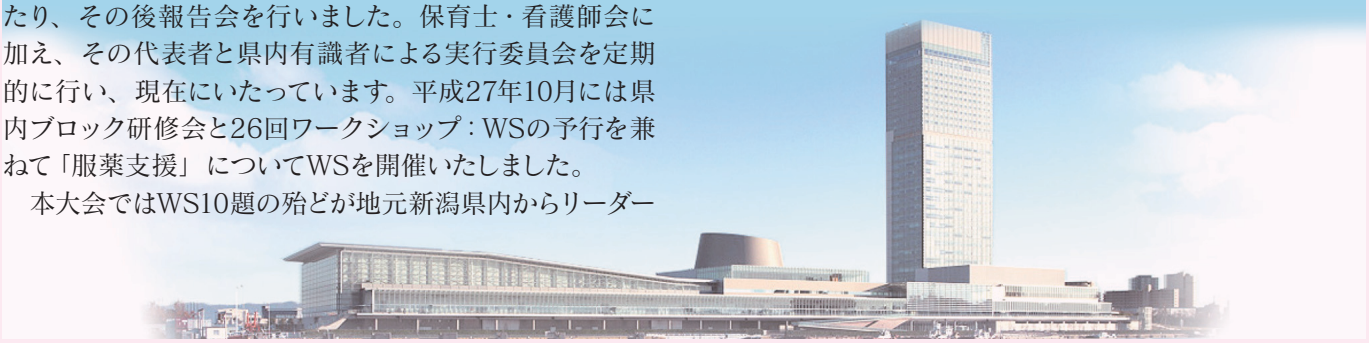
本大会ではWS10題の殆どが地元新潟県内からリーダーを選び、運営して行く事にいたしました。また大会運営は、昨今の経済事情では参加費以外の運営費を得ることが困難になりつつあり、大都市以外の開催地でも出来るだけ自助努力で運営出来るような方法を模索して、新潟方式というプロトタイプを提案していければと検討中です。

日常の保育の中で、こどもたちのいろいろな病気について、分かりやすいお話を「保育士・看護師にもわかる」というサブタイトル付きの教育セミナーとして開催します。食物アレルギーを持つ病児を保育するときには、充分注意を払う必要がありますが、完全にはヒヤリハットは避けられません。そこで二日目の教育講演では、食物アレルギーを持つ病児が利用する際に遭遇する可能性のある事例について講演をしていただく予定です。さらに日常の保育では、こども同士などの偶発事故も避けられません。避けられないならば最小限にしてゆくにはどうするかというお話を公開講座に選びました。

第一日目は初期の大会と同様に、お弁当事前申込（または持参）といたしました。新潟県産コシヒカリと食材を使用し、おいしいお弁当を用意いたします。二日目はランチョンセミナー（当日整理券配布・枚数制限あり）を3題お願いいたしました。一題は地元企業の後援で、新潟県内の有識者による講演を予定しています。第一日目の懇親会では、新潟で食べられるごちそうに加えて、県民ショウでおなじみのB級グルメを用意いたしますのでご期待ください。

詳細は大会ホームページに順次掲載してまいりますので、ご覧になってください。7月、朱鷺メッセでお会いしましょう。

〔大会ホームページ〕
http://web.apollon.nta.co.jp/hoiku2016/



平成27年度 神奈川県支部報告

平成26年３月神奈川県支部長が佐藤順一先生から小生に引き継がれてから２年となる。

現在の県内の加入施設は横浜市には病児保育８施設・病後児４施設、川崎市は４施設、横浜・川崎を除く病児病後児は７施設となっている。

支部連絡会、研修会は横浜市病後児保育協議会と共同で年２回行い、平成27年７月１日に第１回連絡会が神奈川区医師会館で行われ、加入施設状況・近況報告、そして全国病児保育研究大会の神奈川県（横浜市）での開催に向けての検討を開始した。研修会は９月19日に「子どもに多い皮膚疾患」と題して皮膚科の石和万美子先生に講演を頂き49名が参加した。

平成28年１月30日には第２回連絡会、研修会が横浜市健康福祉センターにおいて行われた。連絡会では加入施設のうち17施設の出席のもと、かねてから検討していた全国病児保育研究大会を神奈川県で開催したいとの決議がなされ、支部内の施設の相互交流、連携、情報共有などを目的とする規定も策定された。研修会は横浜市総合リハビリテーションセンター長の小川 淳氏に「発達障害について」と題し講演をいただき、67名の参加があった。その中で、園における気になるこどもって？これは性格なの？発達障害の子どもは健常児集団に一定数いるのは当たりまえ、保育のユニバーサル化を行い保護者への支援や対応には子どもの性格や習慣を受け入れ、保護者との意見交換を行うことが重要。保育士の本分である『保育』の質の向上が大切と述べられた。その後、みなとみらいぷかり桟橋、海鮮ぴすとろ「ピア21」で講演を頂いた小川先生を囲み懇親を深めた。

県内には病児病後児施設が把握している中で47施設ある。今後は神奈川県（横浜市）での開催に向けて県支部の加盟施設の加入促進を行っていきたい。

おおぐち病児保育室　新 納 憲 司

東京都支部研修会

平成28年１月31日に東京都支部会を開催し、午前午後の部で合わせて３つの講演が行われました。

１．保育環境における突然死を防ぐために

有限会社マスターワークスの伊東先生による突然死に関する講演でした。データに基づいたわかりやすい説明の中、「体調不良の時に起こりやすい」「園に預けて初日～３日目（慣れていない時）の発生率が高い」など、聞けば聞くほど病児保育に当てはまることばかりでさらに身が引き締まる思いでした。SIDSに関して、現時点では絶対に防げるという対策はありませんが、伊東先生の話を聞く事でそれは病児保育施設にとってかなり身近であること、いつ起こり得るかもしれないという危機感をいかに持って保育にあたるかが重要であると感じました。各施設で部屋や人員の配置は様々ですが、与えられた状況の中で出来る限りの対策をとることに尽きるというアドバイスをいただき、講演の後には、時間内に伺えなかった質問者で列が出来る程でした。

２．発達障害児の保育

ニコこどもクリニックの本田先生による講演でした。障がいを発達の偏りと捉え、どのように偏っているのか、その偏りからどのような行動を起こしやすいのか、談笑を交えながらわかりやすく話して下さいました。また周囲が変われば適応も変わるという話から、病児保育を利用するどんな子どもにとっても「周囲」が心地よいものであるように努めていかなければならないと感じながら、１時間の講演はあっという間に過ぎていきました。

３．急変する可能性のある病気

ぱるむの看護師江頭さんに、症状別の観察ポイントと急変した時の対応法などを話していただき、ベテランから経験の浅い方まで大変わかりやすく、自分の施設にお持ち帰り出来る情報が満載でした。

東京での支部会は約２年振りとなりましたが、130名を超える多くの方に参加いただき、このような研修の場がやはり定期的に必要であると感じられた１日でした。

いなみ小児科付属病児保育室ハグルーム　花 房　　茜

Part 1

病児保育川柳

昨年の熊本大会「広報の部屋」で発表された句をニュースでも、次号にわたりお届けします。

大丈夫　母の背を押し　もらい泣き
神奈川県　エンゼル幸

また来たい　嬉しい言葉　複雑だ
東京都　病児保育室にこのおうち

先生好き～　チューするあなたは　溶連菌
東京都　病児保育室うさぎのママ

なんて読む？　昨日覚えた　キラキラネーム
山梨県　病児保育室ドリーム

＼人気投票 第一位／

胃腸炎　なぜなの朝食　ケンタッキー
大阪府　病児保育室こひつじ

抱っこしながら　やっと寝た　布団におろすまでが勝負です
大阪府　病児保育室まつぼっくり

入室時　やっと喋った　ラッスンゴレライ
大阪府　病児保育室ティーグル

ぬろっかな　ぬらんでいいか　なおったし
大阪府　病児保育室モコモコ

病気のときも　元気と勇気をくれる　アンパンマン
大阪府　病児保育室ウルル

初利用　うれしかなしの　後ろ髪
三重県　病児保育室カンガルーム

弟も　連れてきたよと　いばる兄
岐阜県　病児保育室クララ

◆ 第26回 全国病児保育研究大会 in にいがた 広報の部屋 ◆

にいがた大会 広報の部屋 予告篇!

施設長の知らない(知ってる)便利グッズの世界

施設で愛用している便利グッズ、感染予防、掃除、お部屋の整理など、施設で活用されている事を施設長がご紹介するコーナーを企画しています！また、使いやすい書類なども大募集します！

所定の用紙に写真とコメントで紹介します。
用紙、応募方法、締め切り日、お問い合せなどの
詳細は後日、各施設へ送付いたしますので、ご確認ください。

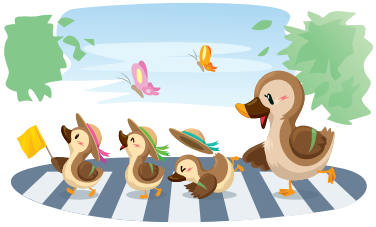
協議会からのお知らせ

平成28年度の「病児保育専門士」の講習日程が決まりました。

日　時　平成28年10月１日(土)、２日(日)
22日(土)、23日(日)

場　所　東京を予定しております。

◎詳細は、各施設へ４月末頃に郵送いたします。



平成28年度実態調査のご協力をよろしくお願いいたします。

平成 28 年度実態調査を近日中に行います。本調査は８年ぶりに行なう大規模な調査で、加盟施設における病児保育事業がよりよくなるために行政と交渉するための資料になります。皆様のご協力をよろしくお願いします。　（調査研究委員会）

編集後記

７月の第 26 回新潟大会の事前登録が始まっています。今号では実行委員長の早川先生に大会開催に向けて熱い思いを書いていただきました。多くの皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

（広報委員長　藤本　保）

協議会ニュースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 全国病児保育協議会 広報委員会

担当：藤　本　　保

〒870-0943 大分市大字片島83-7
大分こども病院
FAX.097-568-2970
E-mail:byouji@oita-kodomo.jp

Printed by